情報セキュリティマネジメント試験対策動画。今回のテーマはBPO、ビジネスプロセスアウトソーシングです。。テレビシーエムなどの放送倫理、番組向上機構ではないのでご注意ください。

このテーマを取り上げた理由としては、当チャンネルのコミュニティで実施しております、情報セキュリティマネジメント試験一問一答にて正答率が70パーセントをしたまわっていたため作成いたしました。今回は、シュリンクラップ契約の関連用語であるクリックラップ契約も含めて解説いたします。

BPO。ビジネスプロセスアウトソーシング。。

社内業務のうちコアビジネスでない事業にかかわる業務の一部又は全部を、外部の専門的な企業に委託することです。BPOの活用により、企業はコアビジネスに集中できるようになり、競争力向上や経営基盤の強化につなげることができます。なお、アウトソーシングは、外部委託、外注という意味です。。このイラストのイメージで覚えましょう。

よくもちいられるアウトソーシングとの違いについてご説明いたします。。

BPOは、社内業務のうちコアビジネスでない事業にかかわる業務の一部または全部を、外部の専門的な企業に委託することです。。

一方アウトソーシングは、単純作業などの業務の一部を委託することを意味します。。

契約期間は、BPOが一般的に長期で、アウトソーシングが短期となります。。

期待される効果は、BPOがコアビジネスに集中することができるため、業務効率化や品質改善などの課題解決が期待されます。。

一方アウトソーシングは、一時的な人員不足の解消を期待しておこなうものとなります。。

このひょうを是非あたまにたたきこんでください。

へいせい31年度。春季。

とい47。BPOの説明はどれか？。。

ア。災害や事故で被害を受けても、重要事業を中断させない、または可能な限り中断期間を短くする仕組みを構築すること。。

イ。社内業務のうちコアビジネスでない事業に関わる業務の一部または全部を、外部の専門的な企業に委託すること。。

ウ。製品の基準生産計画、部品ひょうおよび在庫情報をもとに、資材の所要量と必要な時期をもとめ、これを基準に資材の手配、納入の管理を支援する生産管理手法のこと。。

エ。プロジェクトを、戦略との適合性や費用対効果、リスクといった観点から評価をおこない、情報化投資のバランスを管理し、最適化を図ること。

せいかいわ。イ。社内業務のうちコアビジネスでない事業に関わる業務の一部または全部を、外部の専門的な企業に委託することです。。

BPOは、ビジネスプロセスアウトソーシングの略なので、今回の選択肢の中だと委託というところがポイントとなります。

ちなみに科目A、B、サンプル問題もご紹介いたします。。

コチラに関しては、先ほどのへいせい31年度春季の問題と全く同じものとなっています。。

よって、解説ははぶかせていただきます。。